

■効果の見える治水事業

高知県 西町地区(須崎市)の急傾斜地崩壊対策事業

「地域の避難場所を創出する急傾斜地崩壊対策事業」



高知県土木部防災砂防課長 加藤 仁志

高知県では、土砂災害の発生時に「安全な避難」を確保するという点を重点項目に掲げ、人命保全上特に重要な避難場所、災害時要援護者施設、地域防災拠点等の優先的な保全を行い、より効果的な事業を推進しています。

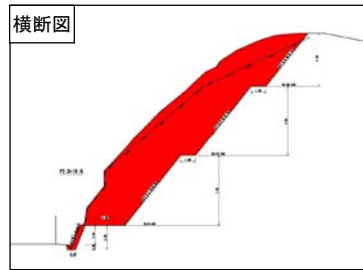
西町地区は、高知市より西方約35kmにある須崎市に位置し、保全対象として人家17戸、須崎市役所水道課庁舎、市道を含む急傾斜地です。人家の背後は急峻な長大斜面が広がっており、降雨の際には斜面の小崩壊が頻繁に発生していたため、平成18年度から急傾斜地崩壊対策事業に着手しました。

対策工は斜面が長大であることから、待受タイプの擁壁を計画し、危険度の高い箇所から優先して整備を進めることとしました。また、地震による津波浸水想定区域にも含まれているため、当事業の対策工に併せて津波避難場所を創出することを検討しました。

検討にあたって、須崎市役所水道課庁舎の背後斜面が市所有の土地であることから、この土地を避難場所として整備することはできないかと、須崎市役所から提案があったため、市所有の土地を利用することとしました。

斜面の崩壊対策となる工法と併せて、想定される最大浸水深1.7mより高い位置に避難ができる場所を創出する工法を検討した結果、地山を安定勾配に掘削することとしました。地質が岩盤であったため、8分勾配で掘削を行い、現況地盤より約2.0mの高さに延長43.0m、幅3.5m～4.0mの避難場所を整備しました。これにより、地震による津波時の「安全な避難」を確保することができました。

高知県では、今後発生する南海地震による被害を最小限に留めるため、ソフトとハードが一体となり、地域の安全・安心の向上を図っています。今後も当地区のように、砂防関係事業に併せて避難を支援する取り組みを検討していき、一人でも多くの安全を確保するとともに、土砂災害による犠牲者ゼロを目標に事業を推進していきたいと考えています。



SAT構想～鍋焼きラーメン～津波対策



須崎市長 須崎 豊徳

昨年来、国の政権交代に伴っていろいろと揺れ動いています。

高速道路の無料化にかかる課題もその一つですが、紆余曲折しており、どう決着をつけるのでしょうか。

ともあれ、四国横断自動車道は、現在は、本市が終点となっており、高知IC～須崎東IC間は、社会実験ということで、6月末から無料となっています。本市にとっては、来訪者を増やすためには、好材料です。ただ、高速道路は、さらに西へと工事が進められており、来年には、隣町まで延伸する予定です。

高速道路ができれば、いろいろな面で大きな効果がある反面、まちを素通りしてしまうことが懸念されます。本市でも、そうならないために、まち全域をサービスエリアに見立ててサービスを提供し、立ち寄っていただくという「まち全域がサービスエリア(SAT(サービス・エリア・タウン))構想」を策定し、取り組みを進めています。

提供するサービスは、多種多様にわたりますが、まだまだPR不足を痛感しています。本市には、「鍋焼きうどん」ならぬ「鍋焼きラーメン」があります。市民の間では、古くから親しまれていたメニューでしたが、数年前から市民有志がこれを世に売り出そうと「鍋焼きラーメンプロジェクトX」なるチームを作り、B級グルメブームの波にも乗って、結構全国的にも知られるようになりました。鍋焼きラーメンを提供する店は、市内に30店舗あまりあります。高速道路の一部無料化や休日割引などを利用して、皆さんのお越しをお待ちいたしております。

さて、今年2月のチリ地震津波では、本市の須崎港は、全国で最も高い津波を観測しました。本市は、過去にも昭和21年の南海地震津波と昭和35年のチリ地震津波でも大きな被害を経験しており、現在は湾口に津波防波堤の建設が進んでいます。

須崎港には、木材工業団地があり、過去の津波襲来の際には、この木材の流出により、施設が破壊されるなど被害の拡大を招きました。この経験から、日ごろから木材を固縛するといった取り組みをしていますが、本年度、木材流出を防ぐ津波バリアを設置するなど漂流物対策実証実験を国の直轄事業で行っていただくことになっており、期待しているところです。

西町地区の急傾斜地崩壊対策事業も、津波からの避難を想定した施工をしていただきました。近い将来、必ず起こる地震津波対策など防災対策に、引き続き取り組んでいかなければならないと考えています。



須崎で生まれ50年近くシンプルでどこか懐かしい味わいの須崎名物鍋焼きラーメン



昭和35年5月に来襲したチリ地震津波により崩壊する須崎港防波堤



平成4年に本体工事に着工し建設が進む須崎港津波防波堤



毎年8月に須崎まつりの一環として浦ノ内湾で開催されるドラゴンカヌー大会